

「北海道・北東北の縄文遺跡群」について

1. 概要

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の考古遺跡で構成される。

北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく示しており、農耕以前における人類の生活の在り方と、精緻で複雑な精神文化を顕著に示す物証である。

2. 構成資産

○北海道

かきのしまいせき きたこがねかいづか おおふねいせき
垣ノ島遺跡、北黄金貝塚、大船遺跡、

いりえかいづか たかきこかいづか しゅうていぼぐん
入江貝塚、高砂貝塚、キウス周堤墓群

○青森県

おおだいやまもいせき たごやのかいづか さんないまるやまいせき
大平山元遺跡、田小屋野貝塚、三内丸山遺跡、

ふたつもりかいづか こまきのいせき おおもりかつやまいせき
二ツ森貝塚、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、

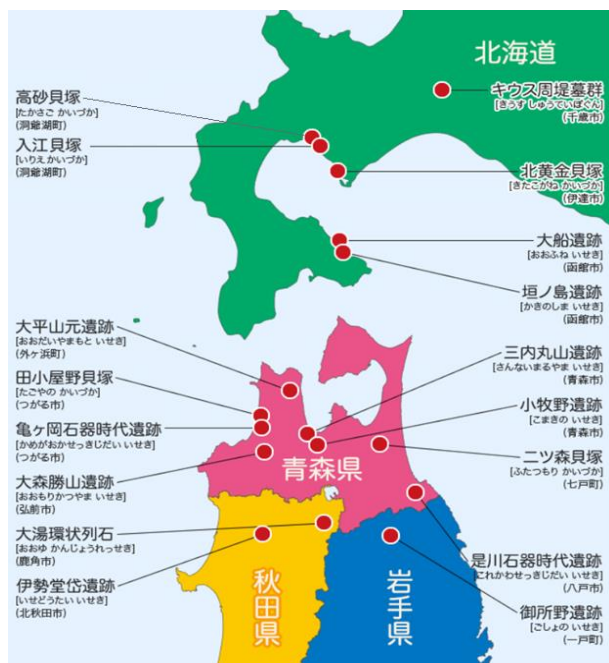
かめがおかせつきじだいいせき これかわせつきじだいいせき
亀ヶ岡石器時代遺跡、是川石器時代遺跡

○岩手県

ごしよのいせき
御所野遺跡

○秋田県

いせどうたいいせき おおゆかんじょうれっせき
伊勢堂岱遺跡、大湯環状列石



三内丸山遺跡



キウス周堤墓群



御所野遺跡



大湯環状列石

3. これまでの経緯と今後のスケジュール(見込み)

2009年		暫定一覧表記載
2019年	7月30日	文化審議会において、2019年度推薦候補に選定
2019年	9月23日	ユネスコ世界遺産センターへ暫定版推薦書を提出
2020年	2月1日まで	正式版推薦書を提出(文化審議会、世界遺産条約関係省庁連絡会議(外務省)、閣議了解を経て決定)
2020年	夏~冬頃	イコモスによる審査(現地調査と書類審査)
2021年	5月頃	イコモス勧告(世界遺産委員会の6週間前まで)
2021年	6~7月頃	ユネスコ世界遺産委員会における審議・決議

4. イコモスの勧告と世界遺産委員会の決議について

○イコモスが評価を行い、以下の4つの区分で世界遺産委員会へ勧告

○イコモスの勧告を踏まえ、最終的に世界遺産委員会において決定

- ①記載：世界遺産一覧表に記載する。
- ②情報照会：追加情報の提出を求めた上で次回以降の審議に回す。
3年以内に追加情報の提出を行った後、現地調査手続きを除くイコモスの審査を受ける。
- ③記載延期：より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要。推薦書を再提出した後、新規案件と同様の手続きを受ける。
- ④不記載：記載にふさわしくないもの、例外的な場合を除き再推薦は不可。